

道老施協 17号

平成25年3月25日

各 北海道老人福祉施設協議会会員 様

北海道老人福祉施設協議会  
会長 三瓶 徹

### 介護福祉士等国家試験の受験方法改善要望の実施について（報告）

時下ますますご清栄のことと存じお喜び申し上げます。

さて、本年1月に実施されました平成24年度の介護福祉士・社会福祉士国家試験（平成25年1月27日）、精神保健福祉士国家試験（平成25年1月26日、27日）の試験日前日（26日）及び試験当日が道北・オホーツク地方を中心に予期せぬ急激な天候悪化による暴風雪の災害に見舞われ、JRやバス等の公共交通機関の運休、さらには道路の通行止めが発生しました。この影響により、受験者が試験会場（札幌、釧路）への移動が困難となり、宗谷管内の老施協会員施設だけでも介護福祉士試験で21名、社会福祉士試験で3名の職員が受験を断念せざるを得ない状況がありました。また、3月3日の道北の暴風雪により介護福祉士筆記試験合格者が実技試験を受験できなかった職員もおりました。

道老施協としては国家資格取得者の人材確保や職員のスキルアップ、さらには利用者サービスの質の向上の観点からこのような事態は重大なことと受け止め、道北・オホーツク地域の施設職員の国家資格試験受験の機会の確保と利便性の向上が図られるよう、厚生労働省と公益財団法人社会福祉振興・試験センターに対し要望活動を行うこととしました。

去る3月11日に道老施協三瓶会長、道社協施設経営支援部長（道老施協事務局）が厚生労働省と公益財団法人社会福祉振興・試験センターを訪問し、介護福祉士等国家試験の受験方法の改善要望について、道老施協と趣旨に賛同いただいた社団法人北海道社会福祉士会・一般社団法人北海道介護福祉士会・北海道ホームヘルプサービス協議会・北海道精神保健福祉士協会の道内5団体連名による別添要望書を直接提出させていただき、受験方法改善の要望を行いましたのでご報告申し上げます。また、全国老施協に対し、北海道からの要望に対する関係機関への働きかけの協力要請を行いました。

なお、今回の要望活動には北海道保健福祉部福祉援護課担当職員も同行下さり、北海道保健福祉部長名による同様の要望書を厚生労働省に提出いただきましたことも合わせてご報告申し上げます。

このたびの北海道からの要望に対し、厚生労働省と公益財団法人社会福祉振興・試験センターからは、旭川市での試験実施について前向きに検討いただける感触が得られました。

### 記

#### 1. 厚生労働省への要望活動

- ・社会援護局福祉基盤課福祉人材確保対策室長、課長補佐、資格・試験係長と面談。
- ・試験地拡大の計画もあり、今回の北海道からの要望内容については厚生省からも社会福祉振興・試験センターに伝えたいとのことでした。

## 2. 公益財団法人社会福祉振興・試験センターへの要望活動

- ・社会福祉振興・試験センター参与、試験室業務第二部部长、業務第二課担当者と面談。
- ・社会福祉振興・試験センターとしては、旭川会場で試験実施となると一定規模以上の試験受験者数と試験会場の確保が必要になること。平成25年度から旭川市で試験実施となると平成25年3月・4月を含めて会場の調整を早急に行う必要があり、まずは旭川市の試験会場や試験受験者見込み数の割り出を進めてみたいとのことでした。

### 【北海道老施協事務局】

北海道社会福祉協議会

施設経営支援部施設福祉課内

(担当：平島、町田)

TEL：011-241-3766